

メール判定の設定

目次

1.IMAPS

2.IMAP

3.POPS

4.POP

5.Outlook設定(IMAPS/POPS)

6.Outlook設定(IMAP/POP)

7.許可アドレス設定

8.検知アドレス設定

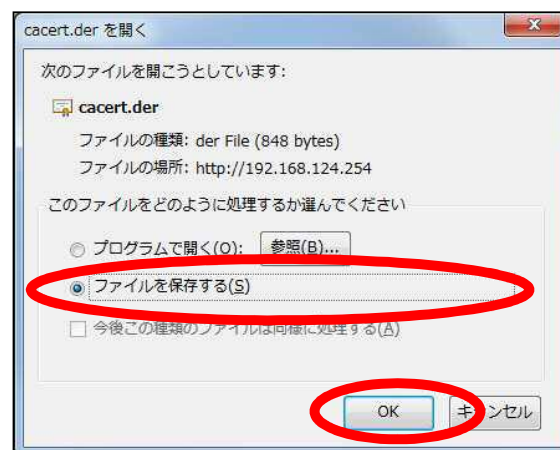
9.ウィルス検知機能設定

1.IMAPSの場合 (メールを暗号化する場合)

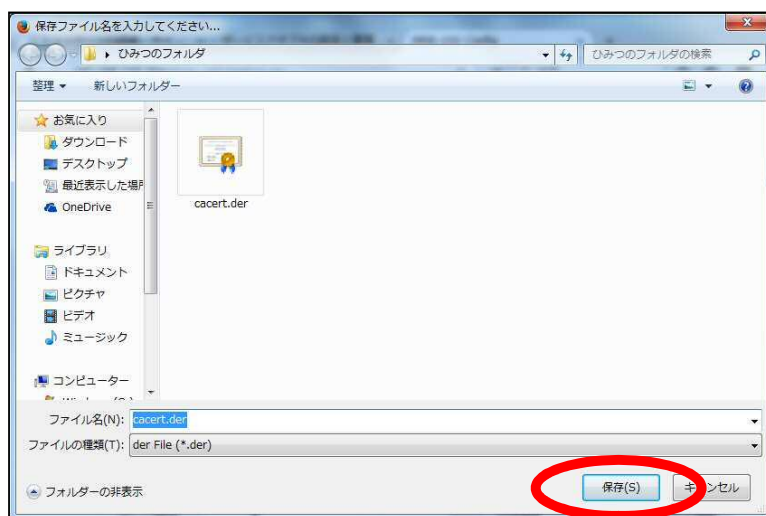
①左側『情報』を選択し、『証明書ダウンロード』をクリックします。



②以下のポップアップが表示されましたら、『ファイルを保存する』を選択し、『OK』をクリックします。



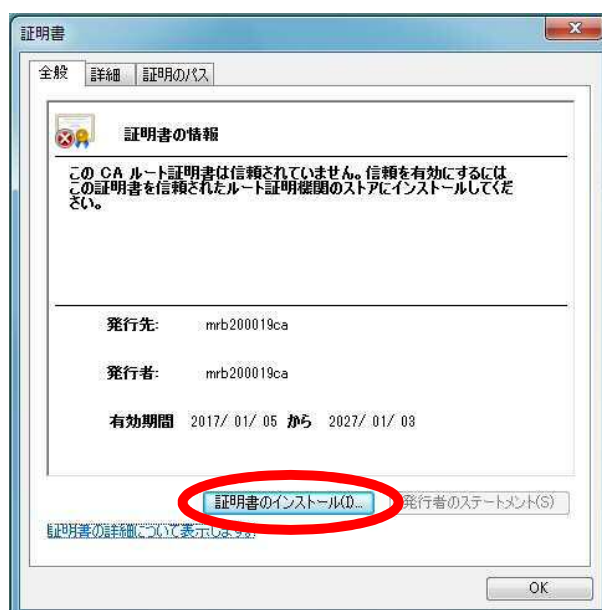
③任意のフォルダに移動し『保存』をクリックします。



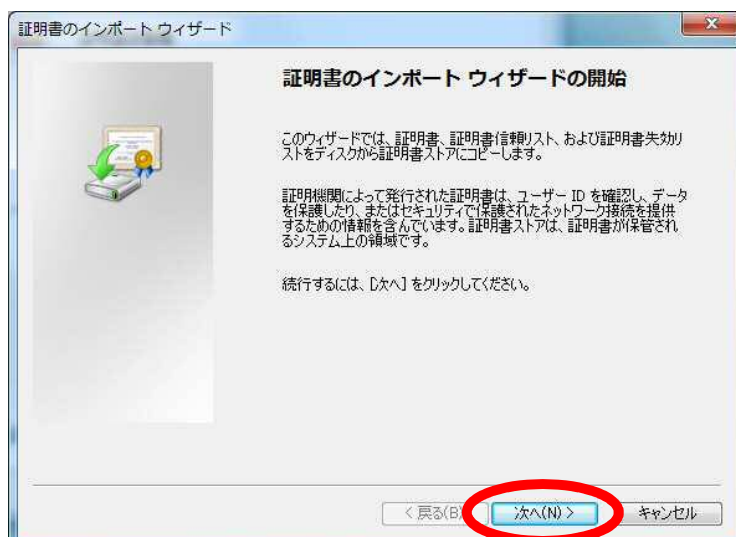
④保存したファイルを実行すると
下図の様なポップアップが表示されますので、『開く』をクリックします。



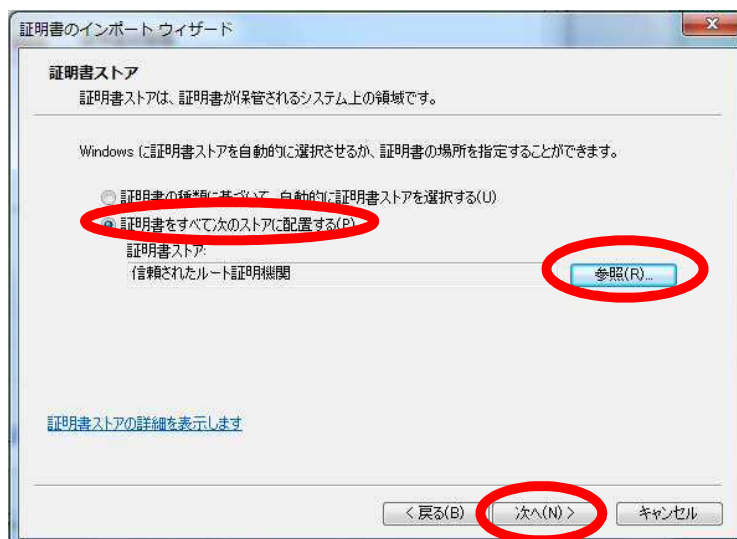
⑤新しいポップアップが表示されましたら
『証明書のインストール』をクリックします。



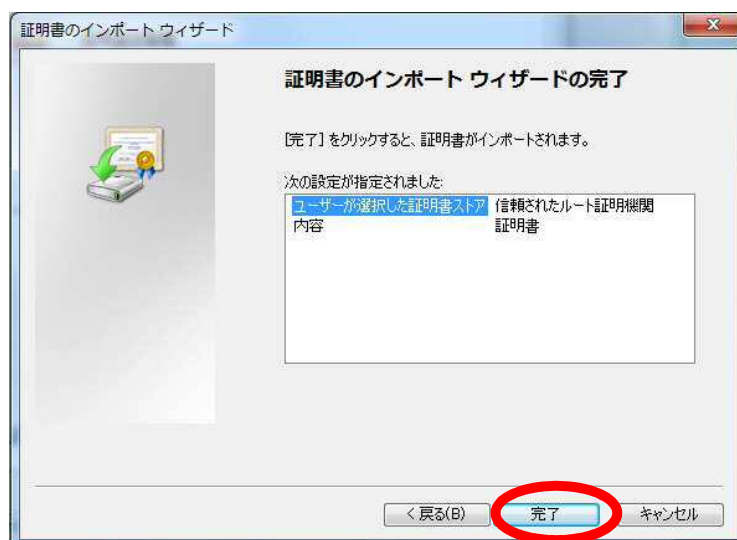
⑥『次へ』をクリックします。



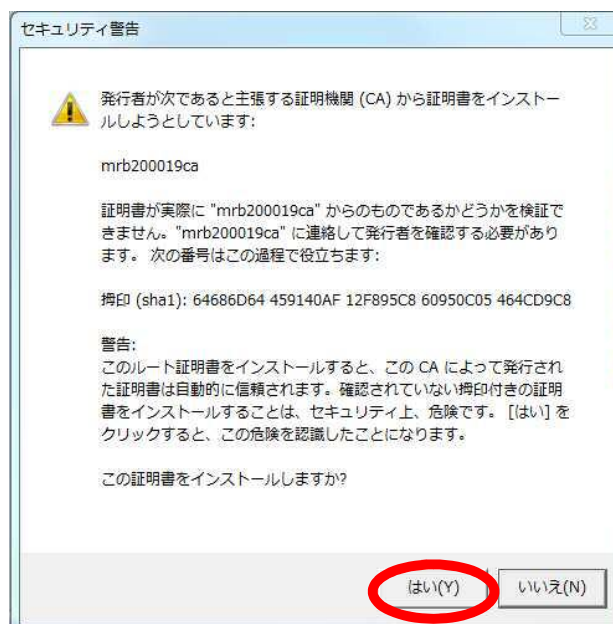
- ⑦『証明書をすべて次のストアに配置する』を選択、『参照』より『信頼されたルート証明機関』を選択し、『次へ』をクリックします。



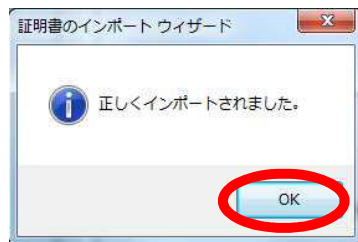
- ⑧内容を確認し、『完了』をクリックします。



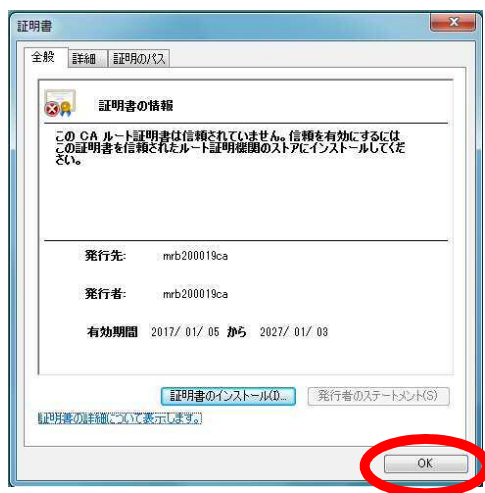
- ⑨下図の様な警告が出ますが、『はい』をクリックします。



⑩『OK』をクリックして、証明書のインポートを完了します。



⑪『OK』をクリックして、ポップアップを閉じます。



⑫右上の『設定』をクリックし、画面左の『メール設定』をクリックします。



⑬メール受信を『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
振る舞い検知
メール設定

ホワイトリスト処理
グループ設定
プリンタ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。

メール受信 (IMAP, IMAPS)

☒ 利用する ☐ 利用しない

消去 次へ

⑭ブラウザ画面に戻りセキュア通信の『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。

※『表示件名』の欄に入力した文字列がスパムメールのタイトル先頭に付与されます。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
振る舞い検知
HTTPS通信
メール設定

ホワイトリスト処理
グループ設定
プリンタ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。

表示件名 -MRB+Secret-

許可アドレス 検知アドレス

セキュア通信

☒ 利用する ☐ 利用しない

消去 次へ
戻る

⑮設定を確認し、『確認』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
振る舞い検知
メール設定

ホワイトリスト処理
グループ設定
プリンタ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループ

設定しますか?

メール受信 (IMAP, IMAPS)

利用する

表示件名 -SPAM-

SSL通信

利用する

確認
戻る

ブラウザでの設定完了後、Outlookでの設定を行いますので、5.Outlook設定(IMAPS/POPS)を御確認ください。

2.IMAPの場合 (メールを暗号化しない場合)

- ① 右上の『設定』をクリックし、
画面左の『メール設定』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示／確認 **設定** 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定

WAN

有線LAN

ルーティング

VPN

リモートアクセス

詳細

セキュリティ設定

URLフィルタリング

IPフィルタリング

ポート転送

メール設定

ホワイトリスト処理

グループ設定

ブリッジ設定

メンテナンスアドレス

アクセス許可リスト

動作切替

パスワード変更

設定

設定を行います。

左のメニューから設定する項目を選択してください。

- ② メール受信を『利用する』を選択し、
『次へ』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示／確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定

WAN

有線LAN

ルーティング

VPN

リモートアクセス

詳細

セキュリティ設定

URLフィルタリング

IPフィルタリング

振る舞い通知

メール設定

ホワイトリスト処理

グループ設定

ブリッジ設定

メンテナンスアドレス

アクセス許可リスト

動作切替

パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。

メール受信 (IMAP, IMAPS)

☒ 利用する ☐ 利用しない

消去 次へ

③セキュア通信の『利用しない』を選択し、『次へ』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

- ネットワーク設定
 - WAN
 - 有線LAN
 - ルーティング
 - VPN
 - リモートアクセス
 - 詳細
- セキュリティ設定
 - URLフィルタリング
 - IPフィルタリング
 - 振る舞い検知
 - HTTPS通信
 - メール設定
- ホワイトリスト処理
- グループ設定
- ブリッジ設定
 - メンテナンスアドレス
 - アクセス許可リスト
- 動作切替
- パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。

表示件名 -MRB+Secret-

許可アドレス 検知アドレス

セキュア通信

☐ 利用する ☒ 利用しない

消去 次へ

戻る

※『表示件名』の欄に入力した文字列がスパムメールのタイトル先頭に付与されます。
なお、デフォルトでは「-SPAM-」と表示されます。

④設定を確認し、『確認』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

- ネットワーク設定
 - WAN
 - 有線LAN
 - ルーティング
 - VPN
 - リモートアクセス
 - 詳細
- セキュリティ設定
 - URLフィルタリング
 - IPフィルタリング
 - 振る舞い検知
 - メール設定
- ホワイトリスト処理
- グループ設定
- ブリッジ設定
 - メンテナンスアドレス
 - アクセス許可リスト
- 動作切替
- パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループ

設定しますか？

メール受信(IMAP, IMAPS)

利用する

表示件名

-SPAM-

SSL通信

利用する

確認

戻る

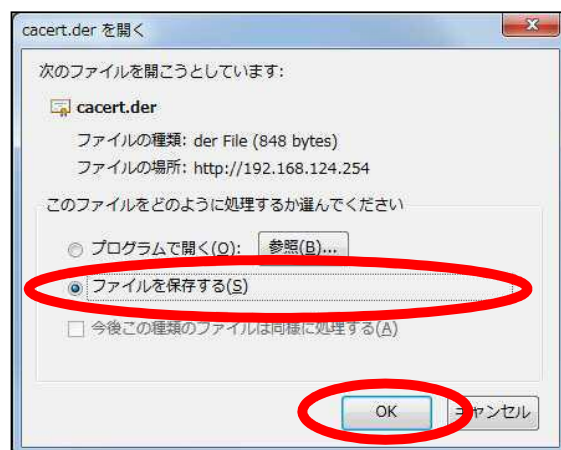
ブラウザでの設定完了後、Outlookでの設定を行いますので、
6.Outlook設定(IMAP/POP)を御確認ください。

3.POPSの場合 (メールを暗号化する場合)

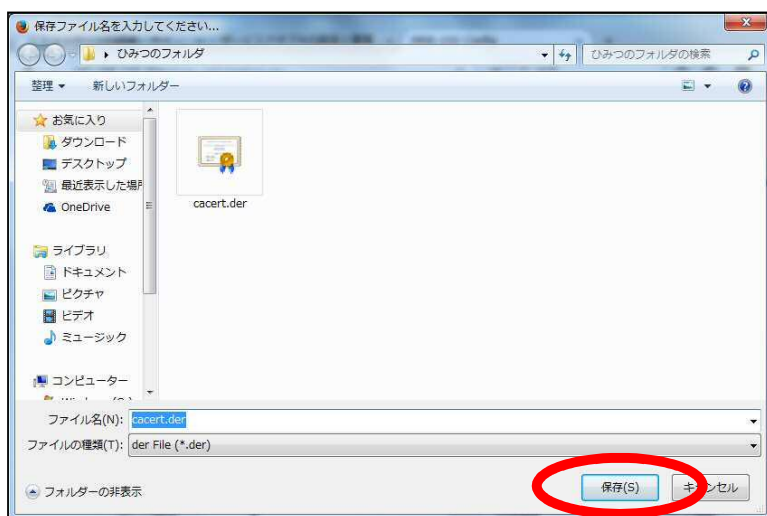
①左側『情報』を選択し、『証明書ダウンロード』をクリックします。



②以下のポップアップが表示されましたら、『ファイルを保存する』を選択し、『OK』をクリックします。



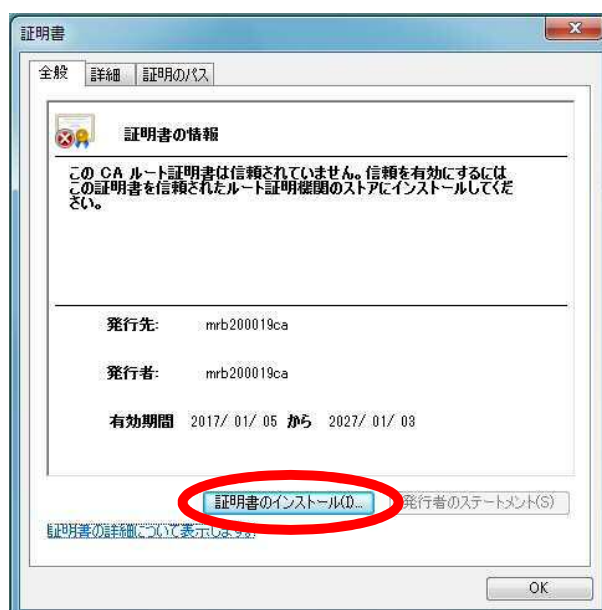
③任意のフォルダに移動し『保存』をクリックします。



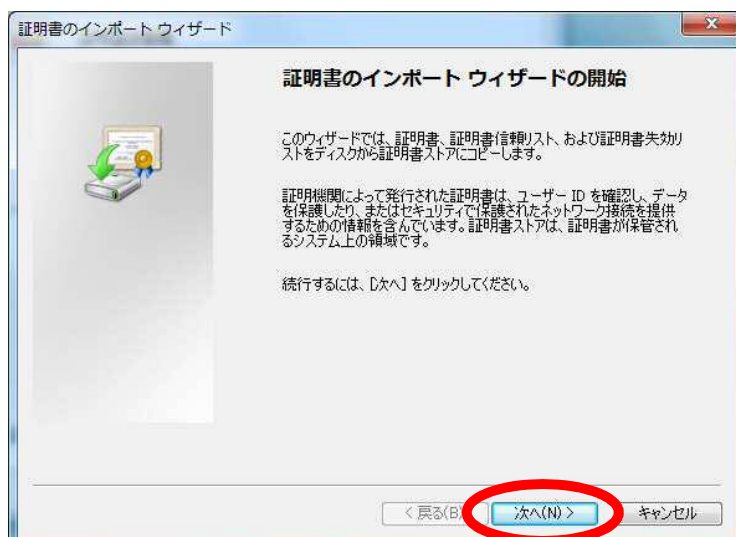
- ④保存したファイルを実行すると
下図の様なポップアップが表示されますので、『開く』をクリックします。



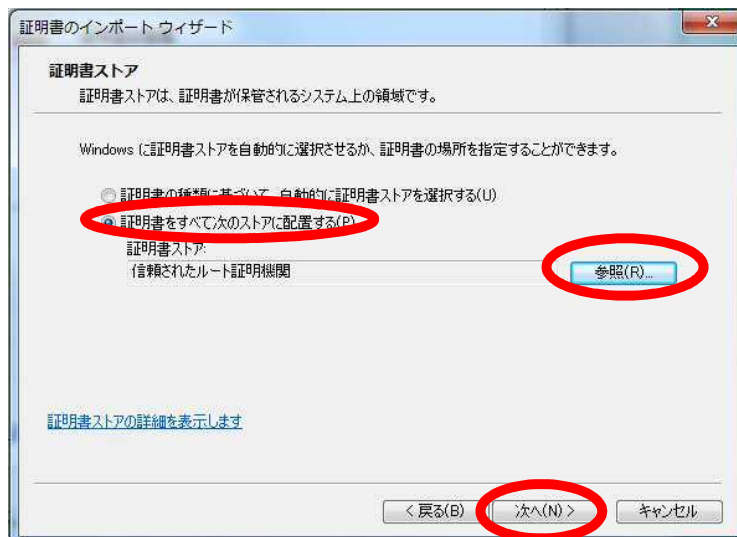
- ⑤新しいポップアップが表示されましたら
『証明書のインストール』をクリックします。



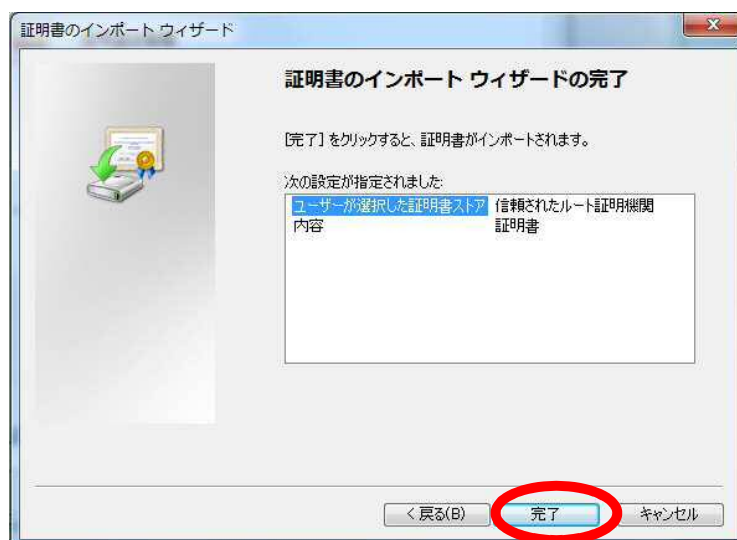
- ⑥『次へ』をクリックします。



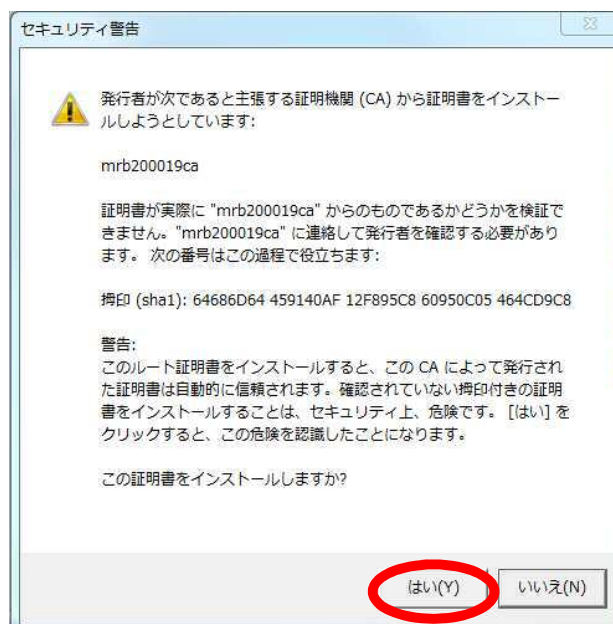
- ⑦『証明書をすべて次のストアに配置する』を選択、『参照』より『信頼されたルート証明機関』を選択し、『次へ』をクリックします。



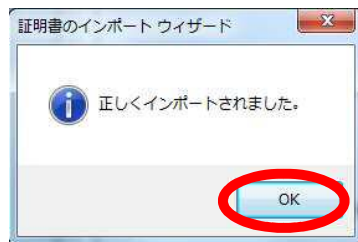
- ⑧内容を確認し、『完了』をクリックします。



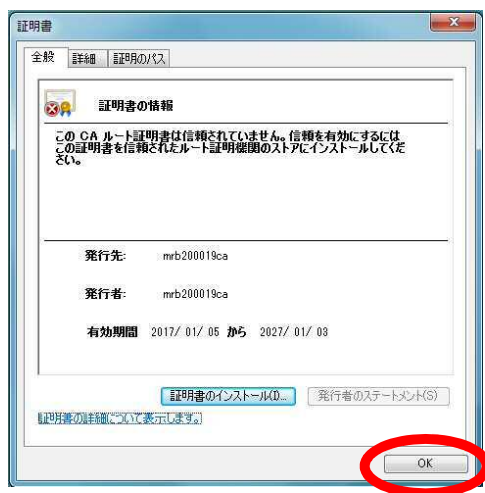
- ⑨下図の様な警告が出ますが、『はい』をクリックします。



⑩『OK』をクリックして、証明書のインポートを完了します。



⑪『OK』をクリックして、ポップアップを閉じます。



⑫右上の『設定』をクリックし、画面左の『メール設定』をクリックします。



⑬メール受信を『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
振る舞い検知
メール設定
ホワイトリスト処理
グループ設定
プリンタ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。

メール受信 (IMAP, IMAPS)

☒ 利用する ☐ 利用しない

消去 次へ

⑭ブラウザ画面に戻りセキュア通信の『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。

※『表示件名』の欄に入力した文字列がスパムメールのタイトル先頭に付与されます。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
振る舞い検知
HTTPS通信
メール設定
ホワイトリスト処理
グループ設定
プリンタ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。

表示件名 -MRB+Secret-

許可アドレス 検知アドレス

セキュア通信

☒ 利用する ☐ 利用しない

消去 次へ

戻る

⑮設定を確認し、『確認』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
振る舞い検知
メール設定
ホワイトリスト処理
グループ設定
プリンタ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループ

設定しますか?

メール受信 (IMAP, IMAPS)

利用する

表示件名 -SPAM-

SSL通信

利用する

確認

戻る

ブラウザでの設定完了後、Outlookでの設定を行いますので、5.Outlook設定(IMAPS/POPS)を御確認ください。

4.POPの場合 (メールを暗号化しない場合)

- ① 右上の『設定』をクリックし、
画面左の『メール設定』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
振る舞い検知
メール設定
ホワイトリスト処理

グループ設定

ブリッジ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト

動作切替

パスワード変更

設定

設定を行います。
左のメニューから設定する項目を選択してください。

- ② メール受信を『利用する』を選択し、
『次へ』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
振る舞い検知
メール設定
ホワイトリスト処理

グループ設定

ブリッジ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト

動作切替

パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。
メール受信 (IMAP, IMAPS)

☒ 利用する ☐ 利用しない

消去 次へ

③セキュア通信の『利用しない』を選択し、『次へ』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

- ネットワーク設定
 - WAN
 - 有線LAN
 - ルーティング
 - VPN
 - リモートアクセス
 - 詳細
- セキュリティ設定
 - URLフィルタリング
 - IPフィルタリング
 - 振る舞い検知
 - HTTPS通信
 - メール設定
- ホワイトリスト処理
- グループ設定
- ブリッジ設定
 - メンテナンスアドレス
 - アクセス許可リスト
- 動作切替
- パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。

表示件名 -MRB+Secret-

許可アドレス 検知アドレス

セキュア通信

☐ 利用する ☒ 利用しない

消去 次へ

戻る

※『表示件名』の欄に入力した文字列がスパムメールのタイトル先頭に付与されます。
なお、デフォルトでは「-SPAM-」と表示されます。

④設定を確認し、『確認』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

- ネットワーク設定
 - WAN
 - 有線LAN
 - ルーティング
 - VPN
 - リモートアクセス
 - 詳細
- セキュリティ設定
 - URLフィルタリング
 - IPフィルタリング
 - 振る舞い検知
 - メール設定
- ホワイトリスト処理
- グループ設定
- ブリッジ設定
 - メンテナンスアドレス
 - アクセス許可リスト
- 動作切替
- パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループ

設定しますか？

メール受信 (IMAP, IMAPS)

利用する

表示件名

-SPAM-

SSL通信

利用する

確認

戻る

ブラウザでの設定完了後、Outlookでの設定を行いますので、
6.Outlook設定(IMAP/POP)を御確認ください。

5.Outlook設定(IMAPS/POPS)

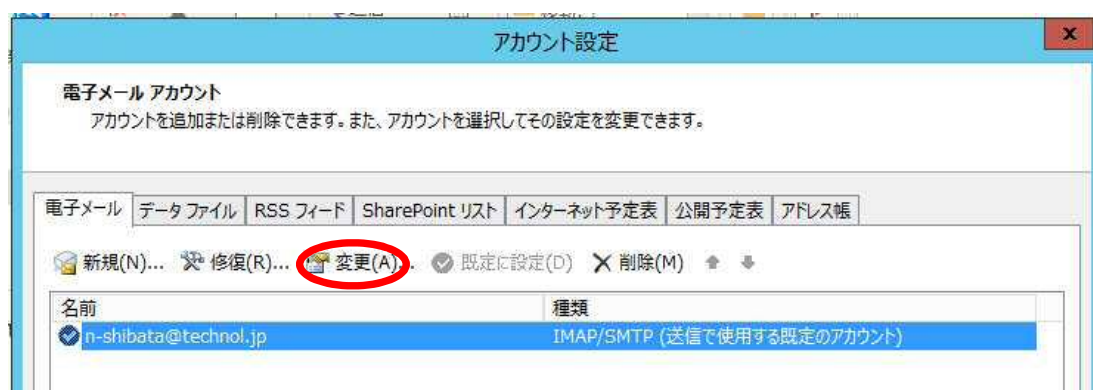
①画面右上の『ファイル』を選択します。



②『情報』タブより、『アカウントの設定』をクリックします。



③設定するメールアドレスを選択し、『変更』をクリックします。



④右下の『詳細設定』をクリックします。

アカウントの変更

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(Y): n-shibata
電子メール アドレス(E): n-shibata@technol.jp

サーバー情報
アカウントの種類(A): IMAP
受信メール サーバー(I): imap.technol.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): smtp.technol.jp

メールサーバーへのログイン情報
アカウント名(U): n-shibata@technol.jp
パスワード(P): *****
☒ パスワードを保存する(R)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
[次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)
☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

オフラインにしておくメール: すべて

☒ メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェックボックスをオンにしてください(Q)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑤受信サーバーポート番号をIMAPなら"143"、POPなら"110"に設定します。
使用する暗号化接続の種類を『TLS』とし、『OK』をクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

サーバーのポート番号
受信サーバー (IMAP)(I): 143 標準設定(D)
使用する暗号化接続の種類(E): なし
送信サーバー (SMTP)(O): 587
使用する暗号化接続の種類(C): なし

サーバーのタイムアウト(T)
短い 長い 1分

フォルダー
ルート フォルダーのパス(F):

送信済みアイテム
☐ 送信済みアイテムのコピーを保存しない(D)

削除済みアイテム
☐ アイテムを削除対象としてマークするが、自動的に移動しない(K)
削除対象としてマークされたアイテムは、メールボックス内のアイテムが消去されたときに完全に削除されます。
☒ オンライン中にフォルダーを切り替えたらアイテムを消去する(P)

OK キャンセル

⑥暗号化の設定が終わったので、『次へ』をクリックします。

アカウントの変更

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(Y): n-shibata
電子メール アドレス(E): n-shibata@technol.jp

サーバー情報
アカウントの種類(A): IMAP
受信メール サーバー(I): imap.technol.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): smtp.technol.jp

メールサーバーへのログイン情報
アカウント名(U): n-shibata@technol.jp
パスワード(P): *****
☒ パスワードを保存する(R)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
[次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)
☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

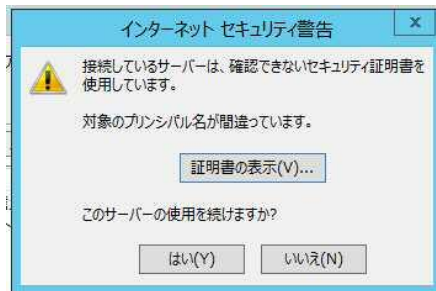
オフラインにしておくメール: すべて

☒ メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェックボックスをオンにしてください(Q)

詳細設定(M)...

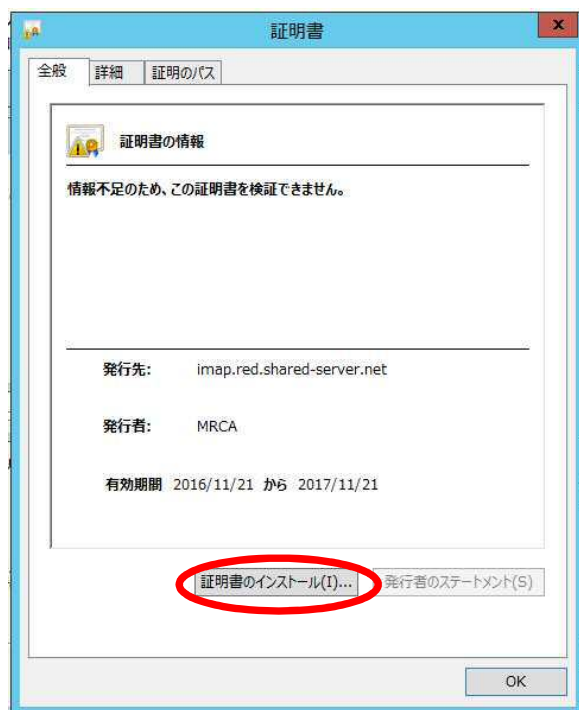
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑦以下のような警告が出ましたら、『証明書の表示』をクリックします。



※この警告が出るメールサーバに関してはSSL通信のスパム判定に対応していない可能性があります。

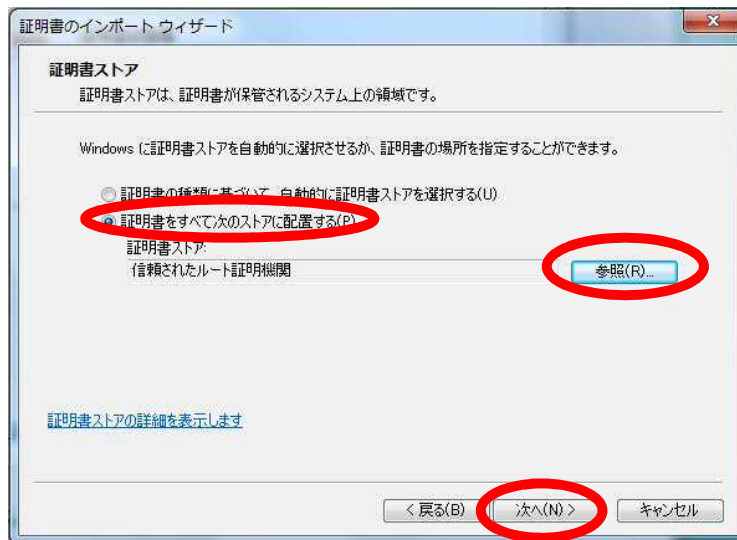
⑧ウインドウ下部の『証明書のインストール』をクリックします。



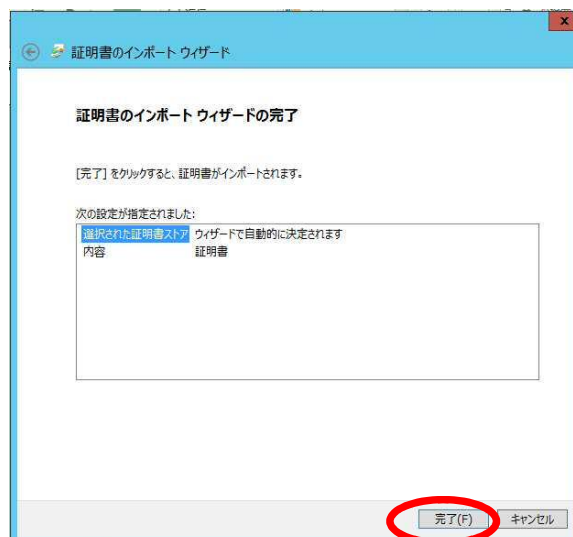
⑨右下の『次へ』をクリックします。



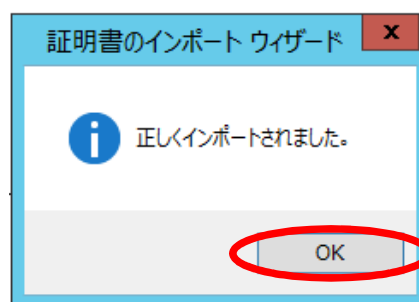
- ⑩『証明書をすべて次のストアに配置する』を選択、『参照』より『信頼されたルート証明機関』を選択し、『次へ』をクリックします。



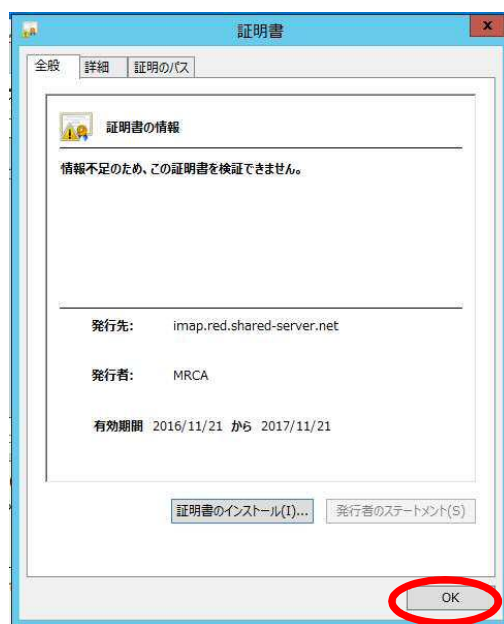
- ⑪『完了』をクリックします。



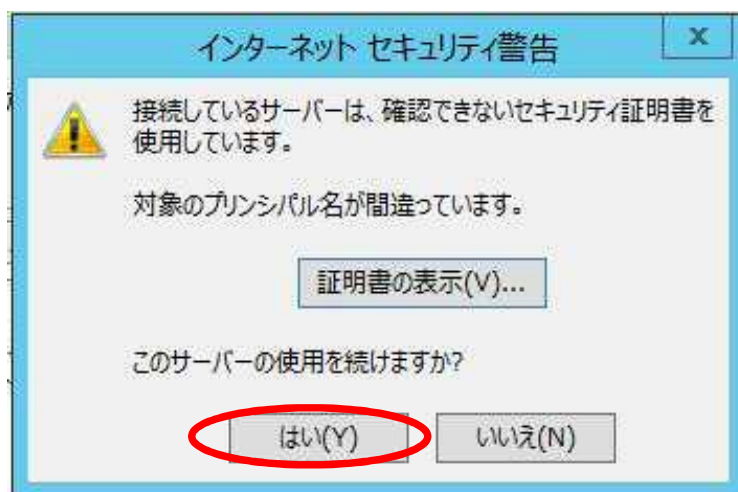
- ⑫「正しくインポートされました。」の表示が出ましたら、『OK』をクリックします。



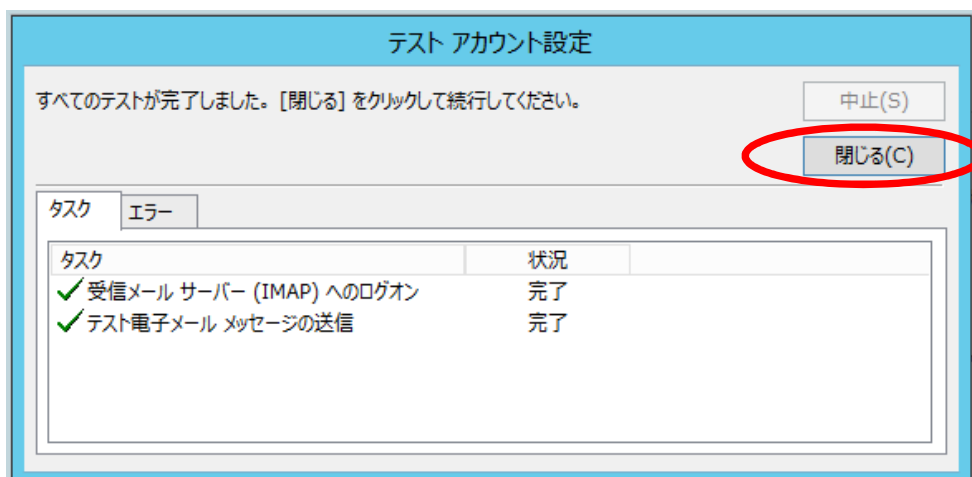
⑬証明書のインストールが終わったので、『OK』をクリックします。



⑭『はい』をクリックします。



⑮メールサーバーへの通信テストが完了しましたら、『閉じる』を押して作業完了です。



6.Outlook設定(IMAP/POP)

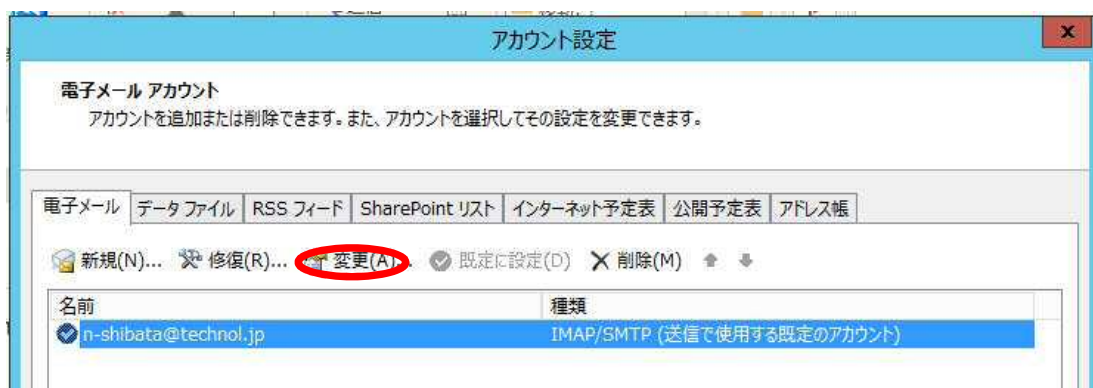
①画面右上の『ファイル』を選択します。



②『情報』タブより、『アカウントの設定』をクリックします。



③設定するメールアドレスを選択し、『変更』をクリックします。



④右下の『詳細設定』をクリックします。

アカウントの変更

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(Y): n-shibata
電子メール アドレス(E): n-shibata@technol.jp

サーバー情報
アカウントの種類(A): IMAP
受信メール サーバー(I): imap.technol.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): smtp.technol.jp

メールサーバーへのログイン情報
アカウント名(U): n-shibata@technol.jp
パスワード(P): *****
☒ パスワードを保存する(R)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
[次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)
☒

オフラインにしておくメール: すべて

☒ メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェックボックスをオンにしてください(Q)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

⑤受信サーバーポート番号をIMAPなら"143"、POPなら"110"に設定します。
使用する暗号化接続の種類を『TLS』とし、『OK』をクリックします。

インターネット電子メール設定

全般 送信サーバー 詳細設定

サーバーのポート番号
受信サーバー (IMAP)(I): 143 標準設定(D)
使用する暗号化接続の種類(E): なし
送信サーバー (SMTP)(O): 587
使用する暗号化接続の種類(C): なし

サーバーのタイムアウト(T)
短い 長い 1分

フォルダー
ルート フォルダーのパス(F):

送信済みアイテム
☒ 送信済みアイテムのコピーを保存しない(D)

削除済みアイテム
☒ アイテムを削除対象としてマークするが、自動的に移動しない(K)
削除対象としてマークされたアイテムは、メールボックス内のアイテムが消去されたときに完全に削除されます。
☒ オンライン中にフォルダーを切り替えたらアイテムを消去する(P)

OK キャンセル

⑥『次へ』をクリックします。

アカウントの変更

POPとIMAPのアカウント設定
お使いのアカウントのメールサーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(Y): n-shibata
電子メール アドレス(E): n-shibata@technol.jp

サーバー情報
アカウントの種類(A): IMAP
受信メール サーバー(I): imap.technol.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): smtp.technol.jp

メールサーバーへのログイン情報
アカウント名(U): n-shibata@technol.jp
パスワード(P): *****
☒ パスワードを保存する(R)

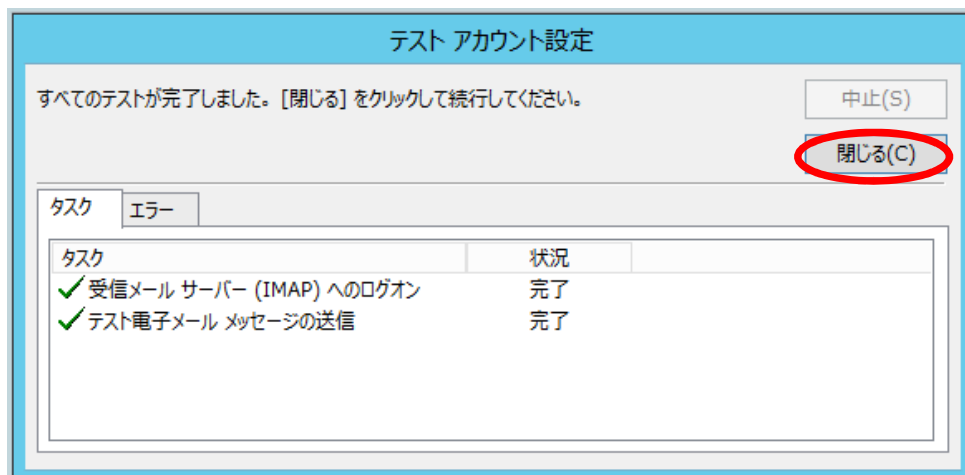
アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
[次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)
☒

オフラインにしておくメール: すべて

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- ⑦メールサーバーへの通信テストが完了しましたら、
『閉じる』を押して作業完了です。



7.許可アドレス設定

①右上の『設定』をクリックし、画面左の『メール設定』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
[詳細]
セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
[設定] [利用] [メール設定]
ホワイトリスト処理
グループ設定
ブリッジ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

設定

設定を行います。
左のメニューから設定する項目を選択してください。

②『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
[詳細]
セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
[設定] [利用] [メール設定]
ホワイトリスト処理
グループ設定
ブリッジ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。
メール受信 (IMAP, IMAPS)

☒ 利用する ☐ 利用しない

[消去] [次へ]

③『許可アドレス』をクリックします。

MRB-100 設定画面

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
[詳細]
セキュリティ設定
URLフィルタリング
IPフィルタリング
[設定] [利用] [メール設定]
ホワイトリスト処理
グループ設定
ブリッジ設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定

デフォルトグループの利用を設定します。

表示件名 SPAM-

☒ 利用する ☐ 利用しない

証明書ダウンロード

[消去] [戻る] [次へ]

許可アドレス 検知アドレス

④『追加』をクリックします。

The screenshot shows the 'Security Settings' (セキュリティ設定) page. On the left is a sidebar with various settings categories. The main area is titled 'セキュリティ設定' and contains sections for 'メール設定 許可アドレス' (Email Settings Allowed Addresses) and 'デフォルトグループ' (Default Group). Under 'デフォルトグループ', there are buttons for '参照...' (Reference...), 'アップロード(置換)' (Upload (Replace)), and 'アップロード(追加)' (Upload (Add)). Below these is a 'ダウンロード' (Download) button. At the bottom, there are buttons for '戻る' (Back), '消去' (Delete), '追加' (Add), '修正' (Edit), and '削除' (Delete). The '追加' button is circled in red.

⑤文字入力欄にスパム判定されたくないメールアドレスを追加し、『追加』をクリックします。

This screenshot shows the same 'Security Settings' page, but now the 'メール設定 検知アドレス' (Email Settings Detection Address) section is active. It displays the message '正規表現を利用する事ができます。' (You can use regular expressions). Below this is an input field labeled 'メールアドレス' (Email Address), which is circled in red. To the right of the input field is a button labeled '追加' (Add), also circled in red. Other buttons like '消去' (Delete) and '戻る' (Back) are also visible.

⑥メールアドレスを確認し『追加』をクリックして、完了です。

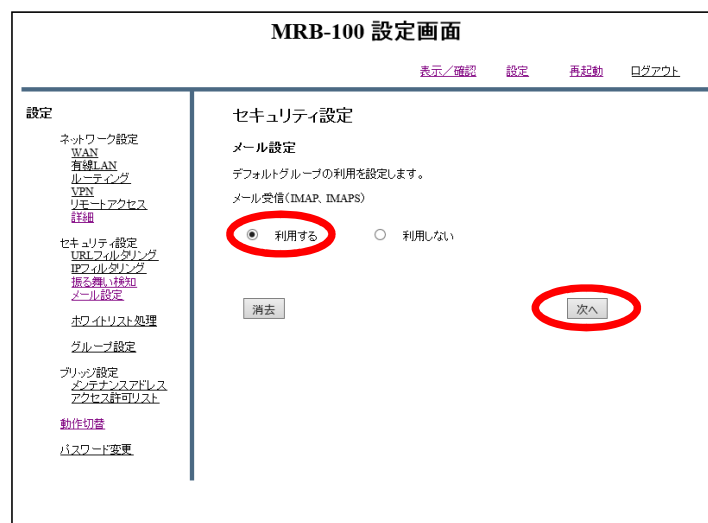
The screenshot shows the 'Security Settings' page with the 'メール設定 許可アドレス' (Email Settings Allowed Addresses) section. It displays a confirmation message '設定しますか?' (Do you want to set?). Below this, the email address 'example@example' is shown next to the label 'メールアドレス'. At the bottom right, the '追加' (Add) button is circled in red, indicating the final step to complete the process. A '戻る' (Back) button is also present.

8.検知アドレス設定

- ①右上の『設定』をクリックし、画面左の『メール設定』をクリックします。



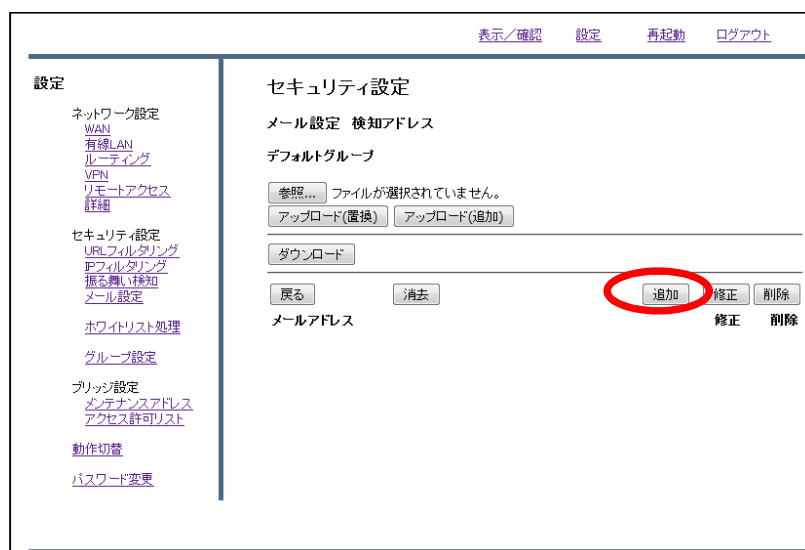
- ②『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。



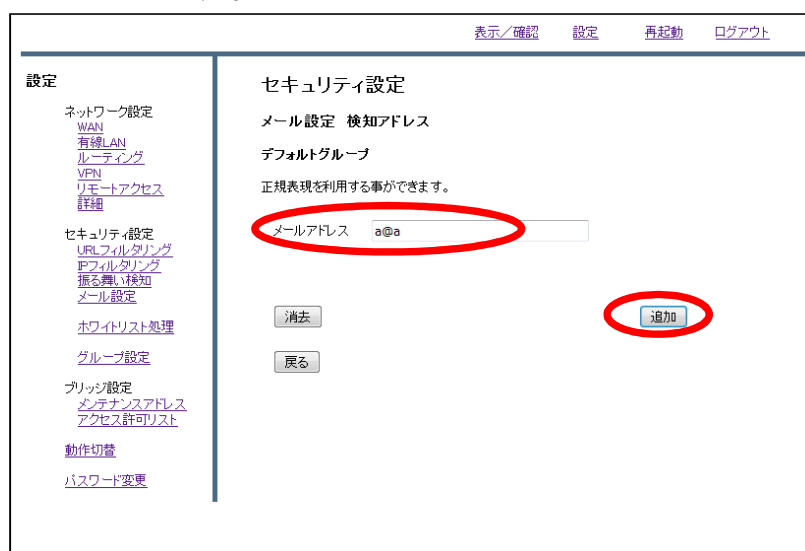
- ③『検知アドレス』をクリックします。



④『追加』をクリックします。



⑤文字入力欄にスパム判定してほしいメールアドレスを追加し、『追加』をクリックします。



⑥メールアドレスを確認し『追加』をクリックして、完了です。

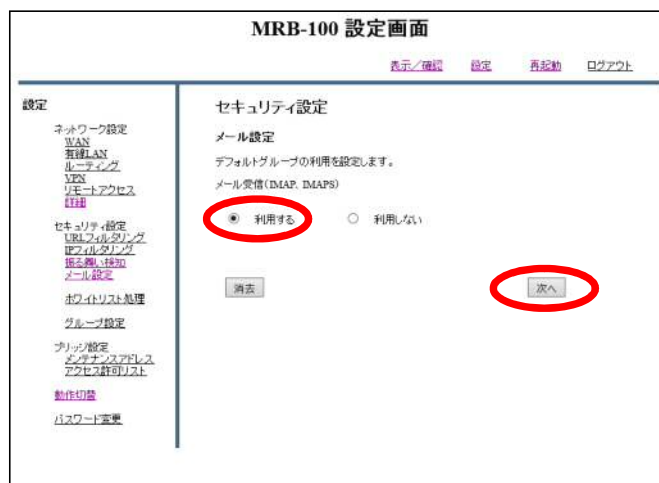


9. ウィルス検知機能設定

① 右上の『設定』をクリックし、画面左の『メール設定』をクリックします。



② 『利用する』を選択し、『次へ』をクリックします。



③ "ウィルス検知機能"の『利用する』を選択し、検知時にメールタイトルに追加される文言を入力します。(デフォルトでは「-VIRUS-」となっています。)



④『次へ』をクリックします。

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
デフォルトグループ
悪意ある検知
HTTPS通信
メール設定
ホワイトリスト処理
グループ設定

プリンティング設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定
デフォルトグループの利用を設定します。

スパム検知機能
☒ 利用する ☐ 利用しない
スパム表示件名 -MRBSpam-

ウイルス検知機能
☒ 利用する ☐ 利用しない
ウイルス表示件名 -VIRUS-

セキュア通信
☒ 利用する ☐ 利用しない
許可アドレス スパム検知アドレス

次へ

⑤内容を確認し、良ければ『確認』をクリックして作業は完了です。

表示/確認 設定 再起動 ログアウト

設定

ネットワーク設定
WAN
有線LAN
ルーティング
VPN
リモートアクセス
詳細

セキュリティ設定
URLフィルタリング
デフォルトグループ
悪意ある検知
HTTPS通信
メール設定
ホワイトリスト処理
グループ設定

プリンティング設定
メンテナンスアドレス
アクセス許可リスト
動作切替
パスワード変更

セキュリティ設定

メール設定
デフォルトグループ
設定しますか？

メール受信 (IMAP, POP3)	利用する
スパム検知機能	利用する
スパム表示件名	-MRBSpam-
ウイルス検知機能	利用する
ウイルス表示件名	-VIRUS-
セキュア通信	利用する

確認

戻る